



今宿小学校 学校だより



令和6年度 11月号 令和6年10月31日発行

子どもたちは「秋」を実感しているのだろうか、と疑問に思ってしまう10月でした。10月の下旬になっても夏日が続く状態に、秋をじっくり楽しむ環境ではないなあと思いつつ、学校生活の中で、少しでも季節感を感じてほしいと願っています。

1年生は、お芋の収穫を楽しみました。そのお芋の絵を描いたり、味を楽しんだり、つるを使って工作したりと、育てたサツマイモを学校の教材として扱っていきます。給食でも、秋に旬を迎える野菜を使ったメニューが増えました。この時期各クラスではハロウィンも楽しんでいました。春に花を咲かせる球根を植える作業を栽培委員会では計画しています。「秋を感じる」こと、大切な自然との関わりだと感じています。

後期始業式にて

今年度も、後期始業式にて子どもたちに本の紹介をしました。「読書の秋」です。新しいことに挑戦する素敵な時期に、色んな本に出合っほしいという願いを込め、3冊を選びました。

「月の大研究」・後期始業式10月17日は、スーパームーンが見られる日でした。そこで選んだ1冊です。

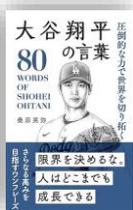


17日は曇り空でしたが、スーパームーンは見ることができました。けれども、少し遅い時間となってからでしたので、子どもたちが見るのは難しかったかもしれません。見られた方は、いらっしゃるでしょうか。地球に一番近い星、そこから何億光年も離れている様々な星への興味が広がると嬉しいです。

「おてがみ ほしいぞ」・新しく図書館に入った本です。一度もお手紙をもらったことのないオオカミ「ギロン」。キツネと話す中で「お手紙を書いたらお返事がくる。」ということを知り、ギロンは誰に手紙をだすのか、。「オオカミ」は怖いイメージがありますが、絵本の中では「やさしさ」や「ともだち」を大切に存在として描かれることもあり、私は意外と「オオカミ」主人公の本を読んでいます。そんな話も加えながら紹介しました。



「大谷翔平80の言葉」・メジャーリーグで活躍中の大谷選手。今宿小学校にも、大谷選手からのグローブが届き、今、運動委員会が順番にクラスに貸出をしてくれています。大谷選手は、プレーも素晴らしいですが、そのプレーを支えている考え方が本当に素晴らしいといつも感心してしまいます。この本には、そんな大谷選手が語ってきた80の言葉がエピソードとともにつづられています。子どもたちにはその中の15番「優先するのは『たのしさ』より『正しさ』」を紹介しました。前期の子どもたちの様子の中で、どうしても「楽しさ」にながされてしまい、「正しいこと」ができない場面を多く見ました。「今自分がやろうとしていることは、自分にとって、周りの人にとって正しいことなのかを考えてほしい、」というメッセージとともに、紹介しました。また、後期、この言葉を色々な場面で子どもたちに語り、児童指導にも活かしていきたいと思っています。



お話朝会 「こころのコップ」

今年度もお話朝会にて、「こころのコップ」のお話をしました。11月は、子どもたちの間で、良いことも、悪いことも起こる時期です。何気ない言葉のやり取りで気持ちのずれが生まれ、そこから友だちとの関係がうまく保てなくなったり、思わぬ一言にショックを受け心の元気が保てなくなったり、。そんな学校生活の中で、「こころのコップ」のお話が、子どもたちに「お互いを大切にしていこう」という気持ちを育てる機会となることを願い、話しました。教室では、学年に応じて「どうすればこころのコップに水がたまらなくなるのだろうか」「友だちの心のコップに水をいれていないかな」「水があふれそうになったらどうしよう」等を話題に自分たちの考え、思いを伝えあいました。

